

# フェーン・異常高温緊急情報(第3号)

令和5年8月22日  
新潟県農林水産部

**8月22日から24日にかけて、異常高温が予想されています。**

**コシヒカリや新之助など登熟中後期の品種を高温障害から守るため、可能な限りかん水し、地温の上昇を抑えましょう。**

## 〔気象の見込み〕

- ◎ 新潟地方気象台が8月22日11時に発表した「新潟県の天気予報（7日先まで）」では、22～24日の最高気温は37～38℃、最低気温は27～28℃とかなりの高温が予想されています。
- ◎ 降水量がかなり少ない状況が続いており、まだ数日はまとまった降雨が期待できない見込みです。

## 〔当面の管理対策〕

- ◎ コシヒカリは、高温によって白未熟粒が発生する時期であり、新之助は、出穂後の高温に対する感受性が高く、最も水を必要とする時期を迎えています。
- ◎ 土壌表面に水がない状態で異常高温に遭遇すると品質が大きく低下します。高温障害による被害を軽減するため、可能な限りかん水し、地温の上昇を抑えましょう。
- ◎ 用水の厳しい供給状況に配慮して、地域全体に用水が行き渡るよう、より一層こまめに水回りを行い、水が行き渡ったら速やかに水口を止めるなど用水の有効活用に努めてください。
- ◎ 熱中症の危険性が高い状態となります。こまめに水分を補給したり、休憩時間を十分に確保するなど熱中症予防と健康管理に十分注意してください。

**限りある農業用水を、こまめな水回り等で有効活用ください。**

水稻共済加入者の皆様へ

新潟県農業共済組合

## 登熟不良の発生と損害評価

水稻は、出穂期以降20日間程度の気温が高温等で推移すると、外見上判断できない白未熟粒等が発生する可能性が高くなります。

現在加入されている半相殺、全相殺方式または地域インデックス方式は収量補償であるため、品質または等級の低下では、通常、共済金の支払い対象となりません。

しかし、当組合管内で白未熟粒等が広範囲に発生し、規格外米が相当割合発生した場合は、当組合の申請及び国の認定により、特例的に白未熟粒等の発生量を共済減収量に加味して、損害評価（特例措置）を実施できる場合があります。

## 被害申告される場合の注意点

玄米の状況などを確認いただき、登熟不良などの高温障害により、白未熟粒等が半分程度以上発生している場合は、収穫される前に被害申告を行ってください。

なお、被害申告の方法は、送付された「水稻損害評価のお知らせ」をご確認ください。

## 共済金支払対象にならない場合があります

白未熟粒等の被害申告をいただいても、今後の生育・被害状況等により特例措置が実施されない場合や、特例措置が実施されても一定の割合を超える減収とならない場合は、共済金の支払対象となりませんので、あらかじめご了承ください。

【お問合せ先】 お近くのNOSA Iまでご連絡ください。